七話

むがしあったでェもんなぁ、ある日どでんも、平沢で流し、うーんとあがったけど、したばヌヌゴドのカンドクの爺ちゃというもの

「バンバ、バンバきょう、まんず平沢で流し、うーんとあがったはげで、握り飯大きてな、二つ握れ」

と言うけどさぁ

「バカ爺ッコ、こんげなんせばせェ、平沢まで行ってくるどて、握り飯二つ三つなんせばやぁ」

「したたって、腹空ば大事だぁ」

と言うけど、したばバンコそれ、握り飯、二つ握ぎって風呂敷さ包んで「馬だせェ」こんぜこえんだこじきだ馬ほえで行ったど。したが旅だもん、明吉のどごさ行ったばよー、旅の爺ちゃ、馬引で「はい、はい、はい、はい」と引ばって行ったど、したば、

狐、やへーだ狐出はって、ちゃんとおわしたけど、それ今度、何
握り飯、こういうの二つ持ってきたもの、一つくれで行ぐと思っ
て
「狐、狐俺のバンバがら握り飯、二つ握ってもらってきたはげで
一つおめぇどごあんまりやへだあげ一つ身のつぐあげ呉ると」
そう言って握り飯一つ呉で行ったど、狐さしたば
「おぎおぎ」
といただぐけどさぁ、して平沢の浜さ行ったば、取れで山な
ったけど
「なんにや生ぎもの一匹でだ」
って言うけど。籠さえっぺいつけで、よっちよっちどっけで、
ハイハイ、ハイって爺ちゃ引ばってきたど、したば狐、まだとー
んと出はったけど、そござ
「さきて、おぎおぎ、とでもおめえに助けられだ」
ど言うけどせ
「この頭巾一つくれる」
どって、頭巾一つもってきてくれだけど。
「おぎ、おぎ、おぎ」
「この頭巾かぶれば馬ッコ喋るのも聞げるし、カラス喋るのも聞
げるし大事だ頭巾んだ」
と言うけど。
「おぎ、おぎ、おぎえかったなあ、この頭巾、せば俺大事にして
とっておぐ」　と。

馬引(ふ)できたば、それ狐(きつね)がら「おぎおぎ」ともらってきたのや、頭巾よ、したば馬ッ子道草取ったりして、母かっておごらいだけど、さがんでほれ、どんだぁ、走るのでね馬ッ子喋れば母馬よ、「人間に引かれで、おれはまだえね、まだえねー」

と言うなんだぁけど、馬ッ子は

「エンホホエンホホ」

ってさがぶのだけどせ。してのろのろど帰ってきたば、滝ダミこえで、滝の端こえで滝ズの所の墓(どころはか)、あこさきたば、うんとそれカラスだえだけど、「バア〈〈〈〈」って、カラス喋るなも聞げるでなんだもの、もう一遍、まずこの頭巾かぶってみるどって、かぶったば、したば

「人間どいうものは、ヤグでねもんだど、平沢の茂助(もすけ)さまの娘、今、今、死ぬどって、あんあーっているたって、あれまず医者も助けれね」

「んだ、それ、そんげなっているど、はっけおぎ、なんにもはっけおぎ」

どこの頭巾かぶれば、はっけもおぐえどっていうなぁだわげで

「まず、平沢の茂助さまさ、おいバンバおめぇどっどとぬるぬるどカラスだそう言うもんだはげで、早く家さ行って、籠降して茂助さまさ拝みに行ぐど」爺ちゃ、そう思ったわげだ。

「ああ、バンバ今きたぁ、せいなんとあがったも、あがったも、鰯山だぁ、一度に一匹の鰯、なんぼが出でらかったば籠もの動ご(え)がさえねだげ、たながえねだげ買ってきた、なげられたりして、

早く紋つき羽織出せバンバ」

「この爺ッコ、なんだわげだ、嚊買ってきただどって紋つき羽織だ出せどだえだって」

婆ッコごげだど

「俺、占い、今行がねばねえ、平沢の茂助さまさ」

「何、爺ッコなもんだでろ、これまんず」

この婆ッコ、狐どごからそれもらったども知らね。

「バカ爺ッコ、占い行ぐでら」

って、ごげだどしゃ、そいでも紋つき羽織出したど。

爺ッコ、紋つき羽織着て、ちゃんとして行ったど、平沢の茂助さまさ

「ごめんください」

と、人だえっぺ集まったけど

「はい、こごの娘病気だという話し聞で、俺まず占い使なぁはげで、俺さ占わしてくれど」

そう言ったどさぁ。

「どうかどうか、助けでくれ」

ど

「俺の占たなば間違げのねえ、占いだ」

っていうけど、爺ッコよ

「さぁさぁ、上ってくれ医者もなおせなぐってこうやしているなんだはげで、どうか助けでくれど」

どって、りゃ大ぎえたずの集まってえだけどせ。

「ああ、なんにも知らねぇなぁ、いい頭巾かぶって「むにゃむにゃむにゃ」こうやして神さまさおどぎゃつけで、いやうぢとれこうやし拝んでなんだけど、

「そごの裏、米倉、なかもの大きって蛇えだなぁ」

と言うけどせ、爺ちゃよ。

「したば、えっぺえだずだぞろぞろと倉さ行って、したらまず閻げでみれど、倉の戸開げでみれど、なんだか大きて蛇、その蛇殺して、まずえっぺえだすだ、んだだしてその蛇殺して海さすてれど」

そう言ったどさぁ、その占い使、カズの爺ちゃが、そのごど大きて蛇えで、んなして殺しだどさぁ、そうして神さま拝んでいるうぢ病気どんどん治ってきたけど、そいでそごえの者だ、えっぺえだずだ。茂助さまの者だも

「とでも、こいだばいい占い使だ」

どって、うーんとそれ銭もらったり、米もらったりして、うーんとえぐ、まず茂助さまの娘どご助けだおかげで金持なったけどそれで。

とっぴんからりんさんしょうのみだど。